

実	施	年	度	令和8	年度
---	---	---	---	-----	----

元気な野菜産地づくり支援事業のうち
契約取引等生産拡大支援事業
実施計画書（要望書）

記入例

事業実施主体名 株式会社埼玉アグリ

所在地 ○○市○○3-15-1

1 事業実施主体及び事業の目的

項目	内容
事業名	契約取引等生産拡大支援事業（収穫・調製等の省力化への支援）
事業実施主体	株式会社埼玉アグリ
所在地	〇〇市〇〇3-15-1
代表者職氏名	代表取締役社長 〇〇 〇〇
設立年月日	令和元年1月1日
事業の目的	加工・業務用野菜の契約取引の拡大にともない、ブロッコリーの作付拡大するため、専用収穫機を導入して収穫労力を省力化し、規模拡大を図る。

2 経営概要

項目	内容			
	営農類型	作付面積(a)	販売金額 (千円)	用途 (生鮮、加工・業務用)
経営全体の 状況 ^{※1} (令和7年)	露地野菜	300	15,000	生鮮、加工・業務用
	水田作	1,000	8,000	生鮮
	畑作			
	施設野菜			
	果樹			
	花き			
	計			
従業員数又は 構成員数	①農業法人、市町村農業公社、JA出資型法人 役員： 2 人、常時雇用： 2 人、臨時雇用： 2 人 ②認定農業者 世帯員： 人、常時雇用： 人、臨時雇用： 人 ③認定新規就農者 世帯員： 人、常時雇用： 人、臨時雇用： 人 ④農業者の組織する団体 構成員： 人			

※1 「経営全体の栽培状況」欄には、事業実施前年度の数値等を記入すること。

3 作付計画

	対象品目	作付面積(a)		生産量 (t)	販売金額(千円)	
			うち 契約 取引分			うち 契約 取引分
現状 ^{※2} (令和7年)	ねぎ	100		30	12,000	
	ブロッコリー	100	10	12	3,600	360
	計	200	10	42	15,600	
目標 (令和11年)	ねぎ	100	10	30	10,800	1,200
	ブロッコリー	300	110	36	10,800	3,960
	計	400	120	66	21,600	4,160

※2 「現状」欄には、事業実施前年度の数値等を記入すること。

(個人の販売計画)

品目 (作型等)	契約の 有無	販売先 (仕向先、実需者名等)	現状(7年度)	目標(11年度)
ねぎ	無	J A (市場出荷向け)	30t	27 t
ねぎ	有	埼玉給食センター	0t	3 t
ブロッコリー(秋どり)	無	J A (市場出荷向け)	10.8t	22.8t
ブロッコリー(秋どり)	有	J A (加工・業務向け)	1.2t	13.2t

4 販売計画

(出荷先団体の販売計画)

出荷団体名	品目 (作型等)	販売先 (仕向先、実需者名等)	現状(7年度)	目標(11年度)
J A 埼玉	ねぎ	市場出荷	400t	400t
J A 埼玉	ブロッコリー	市場出荷	200t	200t
J A 埼玉	ブロッコリー	〇〇商社 (コンビニ弁当向け)	15t	100t

※3 「現状」「目標」欄は、出荷量を記入すること。

※4 出荷先団体において共同販売する計画の場合は、本欄に聞き取り等により記入すること。
契約書類等の写しを添付すること。

5 事業費

(1) 事業費

補助事業に要 する経費(円)	負担区分(円)			備考
	県費	市町村費	その他	
7,700,000	3,500,000		4,200,000	除税額 700,000円 うち県費 350,000円

※5 「補助事業に要する経費」については、本事業で補助対象としない消費税を含めた金額を記載すること。

(2) 自己資金の調達方法

農業制度資金

6 機械・施設の所有状況 (対象品目に係るものに限る)

(1) 機械

作業	機械の種類	型式	所有量
ほ場準備	トラクター	NTA403	1台
		NTA603	1台
は種			
移植	乗用型移植機	PW200R	1台
防除	乗用管理機	JKB23	1台
栽培管理			

収穫			
調製・選別			
包装			

(2) 施設

施設の種類	利用状況	型式	所有量
パイプハウス	3/下～8/下	間口 5.4m×奥行 20m (108 m ²)	1 棟
保冷库・予冷库			

7 整備内容

(1) 機械

ア 種類等

機械の種類	型式	事業量	保管場所
ブロッコリー収穫機	HB1250A	1 台	〇〇市〇〇 3-15-1

イ 利用計画

機械の種類	単位時間当たりの能力 (任意の単位/hr) ①	1日当たり 利用時間 (hr/日) ②	利用延べ日 数(日) ③	年間利用面積又は 年間生産・処理量 ④ = ① × ② × ③
ブロッコリー収穫機	1.5a/hr	5hr/日	40 日	300a

(2) 施設

ア 種類等

施設の種類	型式	事業量	設置場所	共済等加入の有無

イ 利用計画

施設の種類	単位当たりの能力	利用延べ日数(日)	年間利用面積又は 年間生産・処理量

8 水田活用に関する事項

(3の作付計画に記載した作付拡大面積のうち、水田活用による拡大見込み分を記載すること)

作付拡大面積	うち水田活用による拡大面	拡大を見込む地区名等 (複数記入可)

	積	
2.0 ha	うち 0.2 ha	埼玉北 地区

9 農業法人の経営力向上に関する事項

修了(受講)年度	講習名
令和7年度	埼玉農業経営塾 次世代経営者養成コース

10 農地中間管理事業等に関する事項

(3の作付計画に記載した作付拡大面積のうち、農地中間管理事業の活用により拡大を見込む(又は予定している)土地について記入すること)

権利の移転・設定をしようとする土地			権利の内容			
所在	現況地目	面積(m ²)	権利の種類	期間		
				始期	終期	期間
〇〇市〇〇	田	2000		・	・	年 か月
				・	・	年 か月
				・	・	年 か月

※6 見込みの場合は、「権利の移転・設定をしようとする土地」欄を記入すること。

11 地域計画に関する事項

市町村	地域名	地域計画で担う者に位置付けられた日 (位置付けられる見込みの日)
〇〇市	〇〇地区	令和8年2月28日

12 G A Pに関する事項

種類	市町村名	農場名	登録番号	品目	認証有効期限 (取得見込み時期)
S-GAP	〇〇市	株式会社埼玉アグリ	〇0000V00	野菜	令和10年3月20日まで

※7 見込みの場合は、認証を目指すGAPの「種類」、「品目」欄を記入すること。

13 環境負荷低減に関する事項

市町村	認定番号	認定年月日 (申請予定年月日)
〇〇市		R9年3月申請予定

14 農業経営のセーフティネットに関する事項

(1) 収入保険

加入者名	保険期間	補償内容(いずれか選択)
------	------	--------------

株式会社埼玉アグリ	令和7年1月1日～令和7年12月31日	・保険方式 ○保険＋積立方式
-----------	---------------------	-------------------

(2) 野菜価格安定制度

対象品目	産地名	出荷団体名

※8 農業経営のセーフティネット（収入保険、野菜価格安定制度）に加入する計画を有し、ポイントが付与される場合は、見込みの内容を記入すること。

15 事業成果の公表等への協力に関する事項

本事業で導入した機械・施設や、栽培・経営等に関するデータの提供等について、個人情報等の支障がある場合を除き、可能な限り公表・普及に協力できる場合は、下記に○を付ける。

はい	○
----	---

16 添付書類

(1) 共通添付

- ア 経営体（団体）の概要書（法人の場合は定款の写し、個人の場合は省略可）
- イ 農業経営改善計画書又は青年等就農計画書
- ウ 総会資料、団体の規約、構成員一覧、機械・施設等の利用に関する規程
- エ 事業実施の意志決定根拠（総会議事録等）
- オ 直近年の経営状況が確認できるもの（財務諸表又は確定申告書の写し等）
- カ 契約取引の契約書の写し等
- キ 機械・施設のカタログ
- ク 参考見積書
- ケ 規模決定根拠
- コ その他採択要件の確認に必要な書類

(2) 取組に応じて添付

- サ 農業法人の経営力向上研修修了証、又は研修申込書の写し
- シ 農用地利用配分計画が認可された旨の通知の写し、申出書の写し
- ス 地域計画の写し
- セ G A P 認証書の写し
- ソ 環境負荷低減事業活動実施計画書の写し
- タ 収入保険加入書又は埼玉県農業共済組合への情報提供同意書